

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

10周年からその先へ ずっと続く文化芸術

Since 2013



Vol.58

1・2月号



写真は2013年撮影

2023年2月4日から さくらプラザ・ホール再開！

== INDEX ==

Pick Up Artist

名曲サロンシリーズ Vol.35 ホール特別公演
古楽を愉しむ～天正遣欧少年使節と南蛮音楽～ 出演
濱田 芳通（リコーダー）、**中山 美紀**（ソプラノ）

Pick Up Event

さくらプラザ 春の芸術祭 2023

さくらプラザ 自主事業レポート

気軽にパロック!! トークと演奏を楽しむコンサート
さくらプラザ 特待生 第17回 特待生ミーティング



第10回区民企画事業
「さくらプラザ チャレンジプロジェクト」開催

連載

子ども × 文化芸術 × 私たちの暮らす街
WA!育つ!育てる!／小田 直弥
戸塚でたのしむミュージック♪／山添 薫
誰も真似てはならぬ!?鈴木啓資の
『さくらプラザコンサート企画案』／鈴木 啓資
人は皆 背中で語る… 見返戸塚人



Pick
Up
Artist

リコーダー
はまだ よしみち
浜田 芳通 中山 美紀
ソプラノ
なかやま みき

～400年以上も前の遠い過去に思いを馳せて～

さくらプラザでは“バロック音楽に親しみを持っていただきたい！”ということで、昨年10月にリハーサル室にて、中山美紀さん（ソプラノ）、新田壮人さん（カウンターテナー）、上羽剛史さん（チェンバロ）による「気軽にバロック！トークと演奏を楽しむコンサート」を開催し、大変多くの好評をいただきました。（コンサートレポートはP.6をご覧ください。）さらに古楽の魅力をもっと多くの方に知ってもらえるよう、今年2月にはルネサンスとバロック初期の音楽も交えながら、名曲サロンシリーズのホール特別公演で「古楽」をお楽しみいただきます。テーマは「天正遣欧少年使節と南蛮音楽」。演奏は、10月公演の3人の他、リコーダーとコルネットのヴィルトゥオーザである濱田芳通さんをお迎えしての贅沢なアンサンブル。

鎖国を行っていた日本がキリスト教とともに初めて触れた西洋音楽が「ルネサンス音楽」「バロック初期の音楽」です。戦国時代・安土桃山時代の激動の日本で、はじめは受け入れられつつも、キリスト教の弾圧とともに西洋音楽も禁止されていました。日本人が再び西洋の旋律を聞くことになるのは明治時代まで後のことになります。400年以上も前の日本ではどのような音楽が演奏されたのでしょうか。当時の人たちと同じ気持ちになって聴いてみるのも、ロマンがあると思いませんか？

今回は濱田さん、中山さんに公演に向けてお話を伺いました。

天正遣欧少年使節とは？

天正遣欧少年使節は、1582年（天正10年）に九州のキリスト大名の代わりにローマへ派遣された4名の少年、伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアンを中心とした使節団のことです。ローマで大歓迎を受け、ヨーロッパの新しい知識を身につけて1590年（天正18年）に帰国しました。ヨーロッパから持ち帰ったさまざまなものの中に「音楽」も含まれます。彼らの帰国後1591年（天正19年）には、豊臣秀吉の前で西洋楽器（古楽器）を使っての西洋音楽（南蛮音楽）の演奏をしたとされています。

南蛮音楽とは？

南蛮音楽を楽器と共に最初に日本に持ち込んだのは、フランシスコ・ザビエルとされます。1549年（天文18年）にフランシスコ・ザビエルが来日し、初めて日本にキリスト教を伝えたことをきっかけに、この時期以降からポルトガルやスペインのキリスト教の伝道者が当時（ルネサンス時代）の西洋の宗教音楽と楽器を使用して、オルガン音楽や歌によるミサが演奏されはじめたのです。当時、ポルトガル人・スペイン人・イタリア人などの渡来人について「南蛮人」と呼んでいたことから、彼らがもたらした音楽のことを「南蛮音楽」と言います。



名曲サロンシリーズVol.35 ホール特別公演
古楽を愉しむ～天正遣欧少年使節と南蛮音楽～
2/18(土) 14:00開演

会場：ホール
出演：中山美紀（ソプラノ）、新田壮人（カウンターテナー）、
上羽剛史（チェンバロ）、濱田芳通（リコーダー）
*詳細は裏表紙をご覧ください。



—名曲サロンシリーズで【天正遣欧少年使節と南蛮音楽】をテーマに決めた想いをお聞かせください。

濱田 芳通(以下、濱田)—安土桃山時代の天正年間に、九州のキリスト大名がローマ教皇に派遣した4人の少年を中心とした使節団が「天正遣欧少年使節」です。13歳前後の少年たちが過酷な船旅でヨーロッパへ行き、活版印刷や西洋楽器、西洋絵画などを持ち帰ってきました。

日本では明治時代の文明開花から西洋音楽が導入され、歌ったり聴いたりするようになった、といわれています。しかし西洋音楽が最初にこの国に渡ってきたのは戦国時代まで遡ります。織田信長や豊臣秀吉の活躍した時代に、日本へやってきた宣教師たちや船乗りたちが伝えたのは宗教のほかにも言葉や工芸品、料理……、そして音楽も伝わってきたのです。それはどんな音楽だったのでしょうか。また「天正遣欧少年使節団」と呼ばれる欧州に渡った少年たちも、その土地の音楽を日本に持ち帰り、秀吉の前で演奏をしたと言われています。ご存知の通り、徳川時代になると激しいキリスト弾圧が起り、日本でのキリスト教布教を夢見て帰ってきた少年たちは不遇な晩年を送り、音楽も一緒に断絶してしまいました。とはいえば見えない音楽、わたしたちが純日本音楽だと思っている曲のなかにも南蛮渡来のスタイルが混在しているかもしれません。彼らが生きた時代の西洋音楽と、日本の民謡も混じえながら、400年以上も前の遠い過去に思いを馳せてみたいと思います。

—ルネサンス・初期バロックの音楽の特徴や、音楽的な魅力をお教えてください。

中山 美紀(以下、中山)—「再生」を意味するルネサンス音楽は1400～1600年頃までに発展した音楽のことを指します。ポリフォニー（多声音楽）と呼ばれる作曲技法が流行しました。独立した複数の声部が対等の立場で絡み合っていく音楽です。また、現在では「長調」「短調」という2つの音階を基本とした音楽が主流ですが、当時の音階は「旋法」というものが使われます。独特な雰囲気を感じ取ることができます。



↑演奏する濱田さん

濱田 芳通 (リコーダー) Yoshimichi Hamada

我が国初の私立音大、東洋音楽大学の創立者を曾祖父に持ち、音楽家の四代目として東京に生まれる。リコーダーとコルネットのヴィルトゥオーザとして国内外で活躍。古楽アンサンブル「アントネッロ」主宰。第7回ホテルオーケラ音楽賞、第28回ミュージック・ベンクラブ・ジャパン音楽賞、第14回佐川吉男音楽賞、第6回JASRAC音楽文化賞、第50回ENEOS音楽賞、第17回及び第19回三菱UFJ信託音楽賞、第53回サントリー音楽賞受賞。

新田 壮人 (カウンターテナー) Masato Nitta

国立音楽大学大学院修了。ミラノ市立音楽院、ギジャーナ音楽院で研鑽を積む。第28回リッカルド・サンドナーリ国際オペラコンクール第2位受賞。イタリア・ヴェルディホールで行われたミラノ音楽祭にてソリストとして出演し、ヴェルディ交響楽団La Verdiと共に演じた。イタリアのアントニオ・ベッローニ劇場にてカウンターテナーでは初のソロリサイタルを行い好評を博す。その他日欧で数多くのバロック・現代の作品の舞台を経験。

中山 美紀 (ソプラノ) Miki Nakayama

—今回の公演の聴きどころ、楽しみ方を教えてください。

濱田—戦国時代、日本に伝わってきた音楽は全て失われてしまつたのでしょうか？言葉にはポルトガル語源、スペイン語源の日本語が沢山残っています。食べ物にしても「カステラ」「天ぷら」「黄飯」など、今では日本の食文化とされているものが、実はこの時代にヨーロッパから輸入されたものがあります。音楽では「おらしょ」といって隠れキリストによって歌い継がれているものがありますが、その他にも当時のヨーロッパ音楽のエッセンスが日本の音楽に入り込んだ可能性もあります。なぜなら、南欧のルネサンス音楽は日本の民謡、童歌に似ているものが多いからです。きっと、皆様の耳にはいわゆるクラシック音楽より聴き馴染みのあるサウンドとして響くのではないかでしょうか？



↑コルネット



↑ルネサンスリコーダー

—戸塚の皆様や、公演にいらっしゃる方々に向けてメッセージをお願いします。

中山—戸塚では2度目の古楽コンサートとなりました。前回の「気軽にバロック！」入門編・上級編ではまず名曲をすらりと並べ、古楽の楽しい世界の一歩を踏み出させていただいたところです。今度はさらに発展し、テーマはずばり南蛮音楽です！高音域担当のソプラノ、男性が女声の音域で歌うカウンターテナー、ピアノの祖先ともいえるチェンバロ、そして木製のあたたかい音が魅力であるルネサンスリコーダーと木のラッパであるコルネットも新たに加わります。解説付きでお届けしますので、きっとお気に入りの1曲が見つかるはずです。ぜひ足をお運びください！

(取材・文・構成／山上由布子)



↑2022年10月「気軽にバロック！」公演の様子



中山 美紀 (ソプラノ) Miki Nakayama

横浜市出身。東京藝術大学卒業、同大学院独唱専攻修了。卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。国際古楽コンクール「山梨」最高位、スペイン国際音楽コンクール優勝など多数入賞。主に宗教曲を活動の軸とし、多くのソプラノソロを務める。舞台作品においては日生劇場『アラジン』と魔法の音楽会をはじめ、古楽アンサンブルアントネッロ主催『ジュリオ・チェーザレ』『クレオパトラ』役に出演。読売・朝日新聞各紙や音楽雑誌で高く評価された。



上羽 剛史 (チェンバロ) Tsuyoshi Uwaha

桐朋学園大学、アムステルダム音楽院を経てミラノ市立音楽院を卒業。在学中は奨学生として音楽院の公式伴奏員をつとめた。2019年に完全帰国し、日本での演奏活動を本格的に再開している。アンサンブル「il Merlo」「アントネッロ」メンバー。音楽教室「Studio nel Bosco」主宰。イタリア音楽得意とするかたわら、クラヴィコードや18世紀の鍵盤楽器オブリガートのレパートリーにも関心があり、定期的に演奏会を行なっている。



さくらプラザ 春の芸術祭2023

毎年恒例 春の祭典が今年もスタート!

毎年恒例の「さくらプラザ春の芸術祭」。2023年度に開館10周年を迎えるさくらプラザを一足先に記念して、例年よりも更に力を入れて開催します。3月10日(金)~12日(日)の芸術祭を共に盛り上げてくださる、ホール、ギャラリー、マルシェに参加する計18団体をご紹介します!

※2019年度より「アートバザール」より「春の芸術祭」へ名称が変更となりました。

ホール

ピアノからアンサンブルまで、様々なジャンルの音楽をお楽しみいただけます!



よこはま
横浜プラスアンサンブル
【金管アンサンブル】

奏者(Chef)が味付けする演奏が舞台でどんな音楽に?一期一会のヒトサラをお召し上がりください!



ザ・ファイブ・シェフズ・スパイシーズ
The 5 Chef's Spices
【木管5重奏】

さくらプラザ マルシェ

素敵なアクセサリーやガラス細工などの小物作品をお求めいただけます!



アートクレール
【工芸】

今年も新たな作品と共に、ステキな出会いを楽しんでおります。



天然石を使った手創りアクセサリーです。身につけて自由にお出かけできるようになりますように。

「和」
【天然石アクセサリー】



ミニ*フラワー
mini*flower&くりこばこ
【アクセサリー】

お花モチーフのアクセサリーと、ボタンを使ったアクセサリーを販売します。是非ご覧ください♪



ドリームマニー
【アクセサリー、小物】

楽しいをモットーに、泉区内で身に付けるかわいい物を作成しています。見に来てくださいね!



着物や素敵な生地を使ったリメイクの洋服、雑貨類を販売致します。全て1点物オリジナル製品です。
**ぬのうた
布の詩**
【布小物】

ギャラリー

団体・個人で活動する市民・区民が心を込めて制作した作品を展示いたします。



ふたむらけいすけ
二村圭介
【はり絵】

初めての展覧会です。皆様ぜひ観にきてください。



おおたに わいち
大谷 和一
【絵本、絵本原画、風景や草花の絵 20余点】

芸術祭は創作の励みです。少年時代の遊びや学校生活を絵本に。風景や草花の絵も出展。



なりた みさこ
成田 美佐子
【額、屏風、テーブルセンター、袱紗・日本刺繡】

初めての参加です。絹糸のいろんな表情を楽しんでいただければと思っています。



しきさい かい
四季彩の会
【水彩画】

会場では四季彩の会 会員の水彩画を展示し、皆様のご来場をお待ちしております。



ぞうけいきょうしつ
バリアフリー造形教室 みんなのアトリエ
【身近な材料で制作した造形作品】

戸塚区の障がい児者向け造形教室です。生徒さんの「楽しい!」をぜひ一緒に感じてください。



おおもり ようたろう
大森 洋太郎
【切り絵、水彩画、ペン画、水墨画】

戸塚写想です。ジャンルを問わず、好きな写真を撮ってます。観ていただければ嬉しいです。



とつかしゃそう
戸塚写想
【写真】

戸塚区民文化センター
さくらプラザ

入場
無料

3/10 金 ギャラリー 13:00~17:00

3/11 土 ギャラリー 10:00~17:00
マルシェ 11:00~14:00

3/12 日 ホール 14:00~16:00
ギャラリー 10:00~16:00
マルシェ 11:00~14:00

春の
芸術祭 2023

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに溺れる 3日間



詳細は当館HPをご覧ください。
春の芸術祭 HPへ

気軽にバロック!!

トークと演奏を楽しむコンサート

第1回 **入門編 知ると楽しいバロック音楽 —後期バロックの名曲たち—**
第2回 **上級編 バロック初期～後期まで —名曲の時代を追って—**

2022年
10月19日(水)

①11:30開演
②14:30開演

バロック音楽を中心に、現在国内外で活躍中の中山美紀さん(ソプラノ)、新田壮人さん(カウンターテナー)、上羽剛史さん(チェンバロ)による詳しい解説付きのコンサートをさくらプラザ・リハーサル室で開催いたしました。

【入門編】と【上級編】の2回公演をお届けし、バロック音楽を初めて聴く方も、よく知っている方も、どちらも存分に楽しめる内容で、特に、リハーサル室というサロン的空間で、ホールとは異なる響きと距離感で聴く演奏は、バロック音楽をより身近に感じることができたと思います。



入門編では、J.S.バッハやヘンデルの有名曲を中心に、作曲家についてや、時代背景などの説明を織り交ぜながら演奏していただきました。上級編ではバロック時代の初期から後期までに活躍した作曲家を順に追いながら、その時代ごとの音楽の特徴をレクチャー。プログラムが進むにつれ、音楽に変化があることを感じることができた公演でした。

ソプラノのころころと転がるような高度な演奏技術や、カウンターテナーの美しい声色、チェンバロの煌びやかな響きで、会場がバロック時代にタイムスリップしたかのような、そんな時間を過ごすことができました。

この公演は2013年より3年に一度横浜で開催される日本最大級の音楽フェスティバル【横浜音祭り2022】との共催で実施。当日は鳴りやまない拍手の中、公演が終了いたしました。



Program

【入門編】

- H.バーセル／トランペットを吹き鳴らせ
- ヴィオールを鳴らせ
- J.S.バッハ／《良く調律されたクラヴィーア曲集 第1巻》より
「プレリュードとフーガ」第1番 ハ長調
- 《ゴルトベルク変奏曲》より「アリア」
- カンタータ147番「心と口で行いと生活」より「主よ、人の望みの喜びよ」
- アンナ・マグダレーナ・バッハのための曲集より「2つのメヌエット」
- G.F.ヘンデル／歌劇《リナルド》より「私を泣かせてください」
- 歌劇《セルセ》より「樹木の陰で」
- オラトリオ《メサイア》より「大いに喜べ、シオンの娘よ」
- 歌劇《エジプトのジュリオ・チェーザレ》より「愛しい人!美しい人!」

<アンコール>

- C.モンテヴェルディ／西風戻り

【上級編】

- A.ガブリエーリ／爽やかで元気のある日
 - G.カッチャーニ／アマリッリ麗し
 - C.モンテヴェルディ／かくも甘い苦悩が
西風戻り
 - J.C.ケルル／カッコウのカプリッচョ
 - D.スカルラッティ／ソナタイ長調K208
 - G.F.ヘンデル／歌劇《エジプトのジュリオ・チェーザレ》より「嵐の海で難破した小舟は」
 - N.ボレボラ／《ゲルマニアのゲルマニコ》より「何という旋風が降りてくるのか」
 - J.S.バッハ／カンタータ78番「イエスよ、汝我が魂よ」より「我は急ぐ」
- <アンコール>
- G.F.ヘンデル／
 - 歌劇《エジプトのジュリオ・チェーザレ》より「愛しい人!美しい人!」



【公演情報】中山美紀さん、新田壮人さん、上羽剛史さんが再びさくらプラザに！

新たに古楽界のヴィルトゥオーゾ 濱田芳通さん(リコーダー)を迎え、名曲サロンシリーズのホール特別公演にて“天正遣欧少年使節と南蛮音楽”をテーマに古楽をお届けいたします。

てんしょうけんおうしうねんしせつ

名曲サロンシリーズVol.35 ホール特別公演 古楽を愉しむへ天正遣欧少年使節と南蛮音楽～

2/18(土)14:00開演

会場：ホール

出演：中山美紀(ソプラノ)、新田壮人(カウンターテナー)、上羽剛史(チェンバロ)、濱田芳通(リコーダー)



↑公演HPへ

さくらプラザ特待生 第17回 特待生ミーティング 特別講座

2022年10月18日(火) 17:45～

さくらプラザ特待生は年に数回さくらプラザに集まり、お互いの文化芸術活動について知ることで刺激を受け、芸術に対する気持ちを向上し合うことを目的にさまざまな活動をしています。

さくらプラザ特待生の趣旨・内容

次回を担う若いアーティストたち。公募により概ね13歳から24歳までの演奏家・表現者を目指している方を認定し、さくらプラザ主催公演を無料で鑑賞することで、自身の芸術活動に活かしてもらうための事業。将来表現者として区民に還元してもらうことを期待しています。2016年から始まり、今年で7年目を迎えるました。2022年4月から特待生に第3期生が新たに7名加わり、ピアノ・弦楽器・ギター・ダンスなど様々なジャンルで計14名の特待生が事業に参加しています。



参加した特待生から感想をいただきました

竹澤遙さん(ピアノ)

自分の知らないことを学べた楽しい時間でした。特にチェンバロはこんなに近くで聴いたり、触ることができ、これから自分がピアノを使ってバロック音楽を勉強する時には今日体験したことを新しく取り入れてやってみたいと思いました。チェンバロの響きは調律で変化していることや、演奏するときはあまり親指を使わないこと、また、カストラートについても詳しく知ることができてとても面白かったです。

石塚万菜さん(ヴァイオリン)

歌手の方から音楽についてだけでなく歴史の事も教えていただけて、お話をとても面白かったです。ペルーでも昔歌われていたと知り、ヨーロッパじゃないんだと思い、西洋音楽史などであまり聞かない国が出てきてびっくりでした。新田さんの歌を聴いた時に、CDとかで聴いたら女性か男性か歌っている方の性別が分らないくらいすばらしい歌でした。途中で急に低い音がでてきて声域がすごいなと思いました。今年はバロックバイオリンを弾こうと思っていたのですができなかつたので来年度は絶対に履修したいなど決心しました。古楽アンサンブルというのもすごく面白そうでたくさんお話を聞けて良かったです。



弦をはじいて音が
出る仕組みだから、
ギターと音質が似
ているんだな…





さくらプラザ コンサートスケジュール

さくらプラザ・ホールは2023年2月4日(土)から再開いたします! ※下記の日程で天井改修工事を行っています。
工事期間:2022年6月1日(水)~2023年2月3日(金)

アートマネジメント講座14 さくらプラザ春の芸術祭2023特別シンポジウム 次世代の文化的なつながりを目指して ~旧戸塚4区の初めの一歩~

出演: 羽毛田 智幸(公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 主任学芸員)
小川 智紀(認定NPO法人STスポット横浜 理事長)
馬場 勝己(横浜いづみ歌舞伎保存会 会長)
岩上 百合子(さかえdeつながるアート 代表)
志村 紀美江(瀬谷区音楽協会 会長)、夏井 祐矢(シネマトツカ 代表)



会場: 戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース(大)

2023/2/5(日) 14:00~15:30

全席自由 入場無料



ホール再開

春の芸術祭2023関連事業

名曲サロンシリーズ Vol.35 ホール特別公演

古楽を愉しむ ~天正遣欧少年使節と南蛮音楽~

出演: 中山 美紀(ソプラノ)、新田 壮人(カウンターテナー)、
上羽 刚史(チェンバロ)、濱田 芳通(リコーダー)



会場: ホール

2023/2/18(土) 14:00 休憩あり・約90分

全席指定 一般 2,500円/横浜市民 2,000円/学生 1,000円



春の芸術祭 2023

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに溺れる 3日間

※「春の芸術祭」に関する詳細はP.4-5をご覧ください。

3/10 金 ギャラリー 13:00~17:00

3/11 土 ギャラリー 10:00~17:00
マルシェ 11:00~14:00

3/12 日 ホール 14:00~16:00
ギャラリー 10:00~16:00
マルシェ 11:00~14:00



詳細はチラシ、もしくは
当館 HPをご覧ください。
春の芸術祭 HPへ



関連事業

3/4(土) 練習室4: 手ぶらで楽しむ はじめての切り絵体験
10:00~12:00 定員10名 1月25日(水)14:00より先行電話予約開始
参加費: 500円(材料費・道具レンタル料含む)

3/10(金) ホール: さくらプラザ寄席 柳家 小せん 独演会
14:00 休憩なし・約90分
1月14日(土)14:00より先行電話予約開始 全席指定: 1,000円

3/11(土) リハーサル室: さくらプラザ特待生ミーティング(公開試演会)
11:00~13:00頃 ※終了時間は前後する場合がございます。
定員30名 入場自由・予約不要 ※混雑時入場制限を行います。
※詳細はHPをご覧ください。

編集後記

2023年明けましておめでとうございます。さくらプラザは今年開館10周年を迎えます!天井改修工事も1月で完了し、いよいよ2月からはホールの利用が再開します。これまでの感謝とともに、これからも戸塚を元気に盛り上げていきたいとスタッフ一同気持ちを新たにしてまいります、どうぞよろしくお願い申し上げます。(館長 小林君江)

編集・発行: 戸塚区民文化センター さくらプラザ 指定管理者: アートプレックス戸塚株式会社 運営企業: 株式会社共立

ららん♪ドレミ シリーズ Vol.20
0歳からのコンサートデビュー♪
~心と身体で感じるミュージック!~

好評発売中

出演: 松岡 多恵(ソプラノ)、徳永 愛(クラリネット)、山中 麻衣子(ピアノ)

会場: リハーサル室

2023/2/8(水)

①10:30 / ②11:45 各回休憩なし・約30分

全席自由 各回 500円 ※0歳から有料。

残席僅少



共催

さくらプラザ共催公演のお知らせ
※下記共催公演のチケットはさくらプラザでは窓口のみ取扱い

コンサート・アミディエ

第49回 音楽サロン plus

~心で聴き、心で歌う~

出演: 吉府 充希子(ソプラノ)、田中 麻里(アイリッシュハープ)

会場: リハーサル室

2023/1/24(火) ①10:45 / ②14:15 全席自由 各回 1,000円

残席僅少



第50回 音楽サロン plus

~心で聴き、心で歌う~ 50回記念 Special

出演: 吉府 充希子(ソプラノ)、
高木 凜々子(ヴァイオリン)、
横山 美里(ピアノ)

会場: ホール

2023/3/28(火) 14:00

全席指定 一般 2,000円/

高校生以下 1,000円

*静かに聴ける5歳以上のお子様



木村大×小松亮太 ギターとバンドネオン

2人のヴィルトゥオーゾが織りなす、情熱と哀愁の競演

出演: 木村 大(クラシックギター)、小松 亮太(バンドネオン)



会場: ホール

2023/2/12(日) 14:00

全席指定 一般 4,300円/

横浜市民 3,500円/

学生券 1,000円

*1F席から販売



戸塚区演奏家協会による
ホット&ハートフル サロンコンサート

~映画中の音楽~



出演: 戸塚区演奏家協会メンバー
(ピアノソロ、オーボエ、声楽)

会場: リハーサル室

2023/2/26(日) 14:00 開演

全席自由 1,500円



10周年からその先へ
戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F

event@totsuka.hall-info.jp

<https://totsuka.hall-info.jp>

※通信料が発生します。

※新型コロナウィルスの感染拡大状況によって公演内容の変更、または中止になる場合がございます。

SAKURA
さくら
Vol.58
1・2月号
2023.1.1発行